

あらゆるニーズに対応する スペクトル測定を実現

The Measure of Confidence

Agilent Cary 8454 分光光度計



Agilent Cary 8454 の高速で再現性の高いスペクトル測定により、不純物の影響を排除できます。

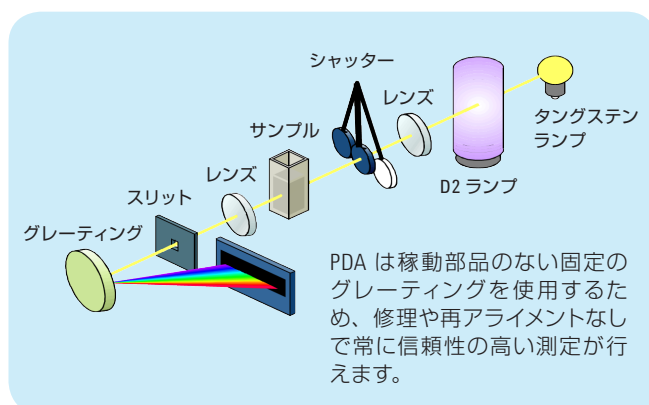
分光光度計がフルスペクトルを取り込めない原因には、分析対象物に残留している不純物が測定の有効性と再現性に影響を与えることが考えられます。

Agilent 8454 が採用しているフォトダイオードアレイ (PDA) は、従来の分光光度計と比較して優れた特長があります。

- **広い波長範囲でのフルスペクトル採取** : Agilent 8454 は、通常の分光光度計と比較して、より広い波長範囲でのスペクトル採取が可能です。今までは採取できなかった波長でのデータが採取できるため、より詳しいサンプル解析を行うことができます。
- **より高速で単純なスキャン** : ボタンに触れるだけで、Agilent 8454 はスペクトル全体のスナップショット (190~1100 nm) を1秒以内に取得します。

- **再校正不要な光学系** : Agilent 8454 の稼働部品はシャッターのみ。機器の移動後も面倒なりキャリブレーションは不要です。
- **直感的な操作** : 抜群の操作性を誇る Agilent UV-VIS ChemStation ソフトウェアにより、複雑な UV-VIS 測定/解析も簡単に操作することができます。
- **信頼性の高い結果** : Agilent 8454 の高い堅牢性により、高額な修理やキャリブレーションなしで、長期間にわたり信頼性の高い測定が行えます。

また、Agilent 8454 は、サンプルスペースがオープンになっているため、サンプルアクセスが簡単です。また、迷光の心配のない設計となっています。



Agilent Technologies

Agilent Cary 8454 分光光度計

QA/QC およびメソッド開発ラボに適した機能を搭載



医薬品 QA/QC

Agilent 8454 は医薬品 QA/QC アプリケーションで威力を発揮します。稼動部品がないため、常に安定して測定でき、再現性の高い結果が得られます。その結果、ラボの効率が上がり、コストの削減が可能になります。



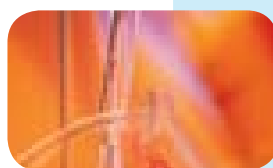
化成品製造 QA/QC

以前の製品 (845X) で開発したメソッドは、再バリデーションの必要なく、Cary 8454 に移行することができます。不純物の影響を排除し、フルスペクトルをわずか 1 秒以内に測定します。



最終製剤の溶出試験

Agilent 錠剤溶出試験バスと Cary 8454 を連結すれば、究極の溶出試験が実現します。ダイオードアレイによる高速データ採取とマルチコンポーネントソフトウェアを組み合わせることにより、測定結果を簡単かつ自動的に得ることができます。



複雑なフォーミュレーション

UV-VIS ChemStation ソフトウェアは、多成分分析に威力を発揮します。フルスペクトル測定をわずか 1 秒以内で行うことができ、定量分析が非常に簡単になります。

■ 光学系性能

波長範囲	190 ~1100 nm	
スリット幅	1 nm	
迷光	<0.03 %	370 nm で (NaNO ₂ 、ASTM)
	<1 %	198 nm で (KCl、EP)
最短スキャン時間	0.1 秒	フルレンジ

■ 寸法

高さx幅x奥行	185 x 344 x 560 mm
質量	16.5 kg

■ 電源規格

電圧	100~240 V AC
周波数	50~60 Hz
消費電力	標準 70 VA (典型値)

■ 環境条件

使用温度	5~40 °C
保管温度	-40~70 °C
湿度	<95 %、25~40 °C

詳細情報

agilent.com/chem/jp

0120-477-111

email_japan@agilent.com

本資料記載の情報は予告なしに変更されることがあります。

アジレント・テクノロジー株式会社

© Agilent Technologies, Inc. 2014

Published March 13, 2014

5991-4276JAJP

